

エルサルバドル政治経済月報 (2026年4月)

2026年4月
在エルサルバドル大使館

内政

1 2027年総選挙：各政党の予備選挙の実施登録期限（当地各紙）

4月7日、2027年総選挙に向けた党内予備選挙の実施登録期限を迎えたところ、最高選挙管理委員会（TSE）に登録されている11の政党のうち、10の政党が予備選挙を実施する。各政党は、7月29日までに予備選挙を実施する必要がある。

(1) 予備選挙を実施する10の政党

- (ア) 新思想党（NI）
- (イ) 国民共和同盟（ARENA）
- (ウ) ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）
- (エ) VAMOS
- (オ) キリスト教民主党（PDC）
- (カ) 国民統合のための大連合（GANA）
- (キ) 国民団結党（PCN）
- (ク) エルサルバドル愛国友愛党（FPS）
- (ケ) 団結力党（FS）
- (コ) エルサルバドル民主党（DS）

(2) VAMOSは、大統領選への不参加を表明し、議会議員及び市長・市議選挙のみの参加とした。GANAは、NI、PDC、PCN、FSとの連合の可能性を示唆した。他方、FMLNは、他政党との連合の可能性を否定している。また、サルバドル独立党（PAIS）は、予備選挙実施を表明せず、政党登録が取り消される可能性がある。

2 ギャングに対する大規模集団裁判の開始（当地各紙）

4月20日、ギャング組織「マラ・サルバドルチャ（MS13）」幹部486人に対する大規模な集団裁判が開始された。これらの幹部は、2012年から2022年の間に実行された47,000件以上の犯罪に関与した容疑にかけられている。

外交

1 ブケレ大統領とペトロ・コロンビア大統領の批判の応酬（大統領SNS）

(1) 4月6日、ペトロ・コロンビア大統領は、自身のXアカウントにて、同日付スペイ

ン「エル・パイス」紙の投稿を引用して、「(エルサルバドルが) 36%の無実の収監者を抱えるということは人道に対する罪であり、民間人のための強制収容所であり、タトゥーがあるという理由や若いというだけで拘束されている人々がおり、これでは殺人率は下がらない。」「コロンビアでは殺人率は低下しており、セマナ・サンタのタイミングで、都市部や農村部で平和を築き、平和化を進め、成果を上げてきている。」旨投稿した。

- (2) 4月7日、ブケレ大統領は、同投稿を引用して、自身SNSアカウントに、ヒラリー・クリントン元米国務長官にした同様の提案として、ペトロ・コロンビア大統領が指摘するとおり、エルサルバドルに「強制収容所」が存在する場合は、エルサルバドルは、いわゆる政治犯や、ペトロ大統領の「愛と生命」という方針に反すると見なされるあらゆるケースを含め、収監者全員の移送に協力する用意がある等、返信を投稿した。

2 ウジョア副大統領のメキシコ、ポルトガル、トルコ、イタリア訪問（大統領府HP、副大統領SNS）

- (1) 4月8日、ウジョア副大統領は、メキシコのチアパス州立自立大学にて、予定されていた基調講演を、現地情勢を受けて訪問を控えてオンラインで実施した他、10日、バルセナ墨環境・天然資源大臣と会談し、グアテマラ及びホンジュラスとのトリフィニオ計画について協議した。
- (2) 4月13日、ウジョア副大統領は、ポルトガルのカスカイスで開催された「アメリカ・スペイン・ポルトガル郵便連合（JPAP）」第25回総会の開会式に出席し、エルサルバドルにおける郵便部門含めたデジタル適応と金融イノベーションの取り組みにつき演説した。また、同14日には、ラ米カリブ地域振興研究所が開催したハイレベル円卓会議に参加した他、ポルトガル議会の外務・ポルトガル系コミュニティ委員会所属議員と会談した。同15日には、リタ・アラルカオ葡司法大臣と会談し、エルサルバドルにおける司法手続きの進展や、犯罪対策および司法行政の強化に向けた取り組みについて議論した。
- (3) 4月17日には、副大統領はトルコで開催された、「アンタルヤ・ディプロマシー・フォーラム」にて、150か国以上の代表者が会したパネル「変革する世界における地域主導の役割」にパネリストとして参加し、地域連携モデルとしてSICAの経験を紹介した。18日には、ユルマズ・トルコ副大統領と会談し、Yilport社の投資、トルコによる保健分野のプロジェクトや奨学金について意見交換した。
- (4) 4月20日、副大統領は、ジョルジオ・シッリ・イタリア・ラ米国際機構事務局長と会談し、エルサルバドルの進展及びトリフィニオ計画につき紹介した他、イタリア・ラ米間の協力にむけた双方の意思を再確認した。翌21日には、公共行政イノベーション高等学校（ESIAAP）の校長として、ローマにある国立行政学院（SNA）のパオラ・セヴェリーノ学長と覚書を締結した。さらに、チェンティナイオ伊上院副議長、ムレ伊下院副議長、伊エルサルバドル友好議連所属議員との会談をそれぞれ行った。加え

て、在エルサルバドル人コミュニティとの会談、リッチ・ボローニャ市長との会談、モラーリ・ボローニャ大学学長との会談、タイヤーニ伊外務大臣との会談、伊ラ米研究所主催の経済フォーラムに登壇した。

3 次期駐エルサルバドル米大使の指名撤回（ホワイトハウスHP及び当地紙報道）

4月13日、米ホワイトハウスは、上院に提出された指名・指名取消の一覧にて、エドガー次期米エルサルバドル大使の指名を撤回する旨明らかにした。14日付当地各紙は、トランプ米大統領が、エドガー氏を国家安全保障省（DHS）次官補の職に戻した旨報道した。

4 米下院トム・ラントス人権委員会におけるエルサルバドル情勢に関する公聴会（米下院HP及び関係者SNS）

4月16日、米下院トム・ラントス人権委員会「例外措置5年目のエルサルバドル」と題する公聴会が行われ、人権擁護団体等が、エルサルバドルにおける恣意的逮捕、刑務所における拷問、拘禁死等につき証言した。

同日、米議会エルサルバドルコーカス及びアンナ・パウリーナ・ルナ同共同議長（下院議員）は、ブケレ大統領の治安対策の成果とリーダーシップを讃える内容をSNSに投稿した。

19日には、ブケレ大統領は自身のXに、公聴会の動画と共に、「人権擁護団体」が無実の人々ではなく、テロリストを擁護していると批判する内容を投稿した。

経済

1 電力基本法の改正（報道）

4月9日、議会は、電力基本法（Ley general de Electricidad）の改正を承認。企業間の個別契約によって決定されている太陽光発電エネルギーの売買価格についてルールを設け、配電網に接続することで、利用者への安価かつ安定した供給を図るとした。

2 AI活用遠隔医療アプリ「DoctorSV」第2フェーズのサービス提供開始（大統領府SNS、報道）

4月14日、大統領府は、AI活用遠隔医療アプリ「DoctorSV」について、第2フェーズ「慢性疾患ケアプログラム」のサービス提供開始を発表。高血圧、腎臓疾患、糖尿病、メタボリック・シンドロームなどの慢性疾患患者に特化し、循環器科、呼吸器科、リハビリテーション、高度医療を統合したオンライン及び対面診療を提供するとともに、アプリによる服薬や診療・検査予約のリマインドや治療中断への警告など、定期的な管理

や継続的モニタリングといった個別化されたフォローアップを行う。

4月21日、議会は、賛成56票により「DoctorSV」第2フェーズへのアンデス開発公社（CAF）による融資7,500万ドルを承認した。これにより、同アプリは1日あたりの対応件数を18,000件から30,000件に拡大する。

3 エルサルバドル国際空港7番目の格納庫の開設（報道）

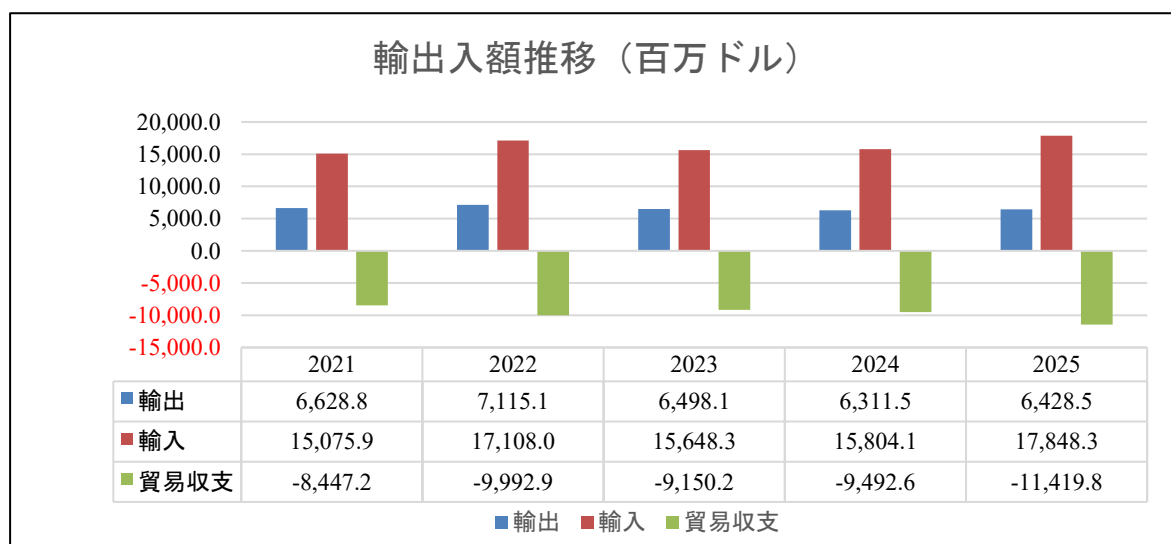
4月16日、航空整備会社アエロマン社は、エルサルバドル国際空港に7番目の格納庫（2万㎡）を開設。世界最大の航空整備センターとなったと発表した。

4 エルサルバドル産ラム酒「シウアタン」の日本への初輸出（外務省プレスリリース）

4月27日、エルサルバドル外務省は、エルサルバドル産ラム酒「シウアタン（Chiuatan）」の日本向け初の輸出についてプレスリリースを発出。ダルトン駐日エルサルバドル大使は、「品質や職人技的革新、産地へのこだわりを重視する日本市場の特性を考えれば、これは大きな前進である。そうした背景において、エルサルバドル産ラム酒は、主要なアクターの関心を得て、アジアにおける新たな機会を切り開いた。」とコメントした。

5 貿易総額

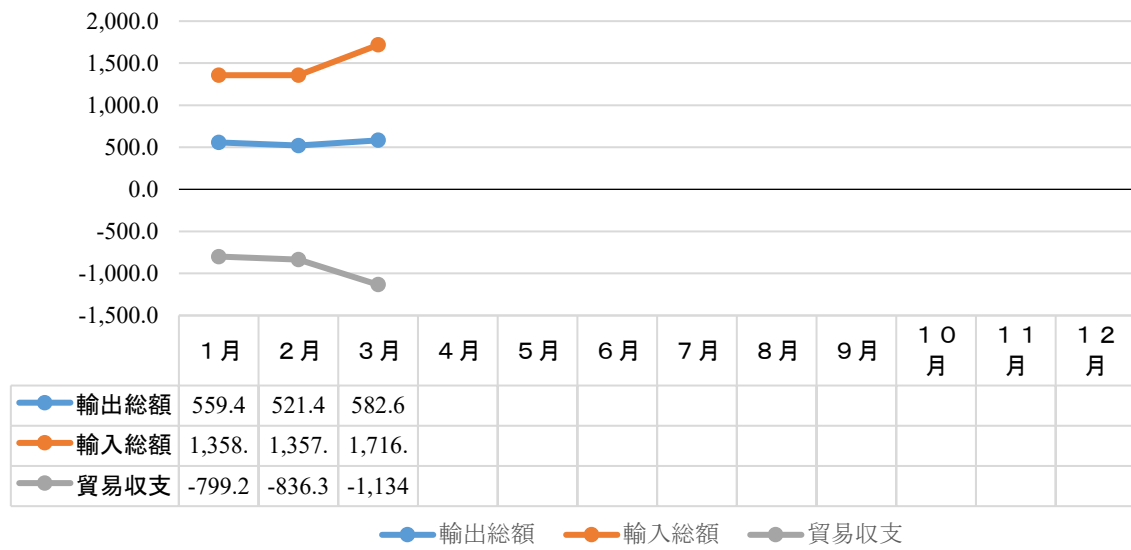
2025年の輸出総額は64億2,851万ドル（前年比1.9%増）。輸入総額は178億4,831万ドル（前年比12.9%増）となった。



※2024年数値は、2025年発表により修正されたもの。

（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

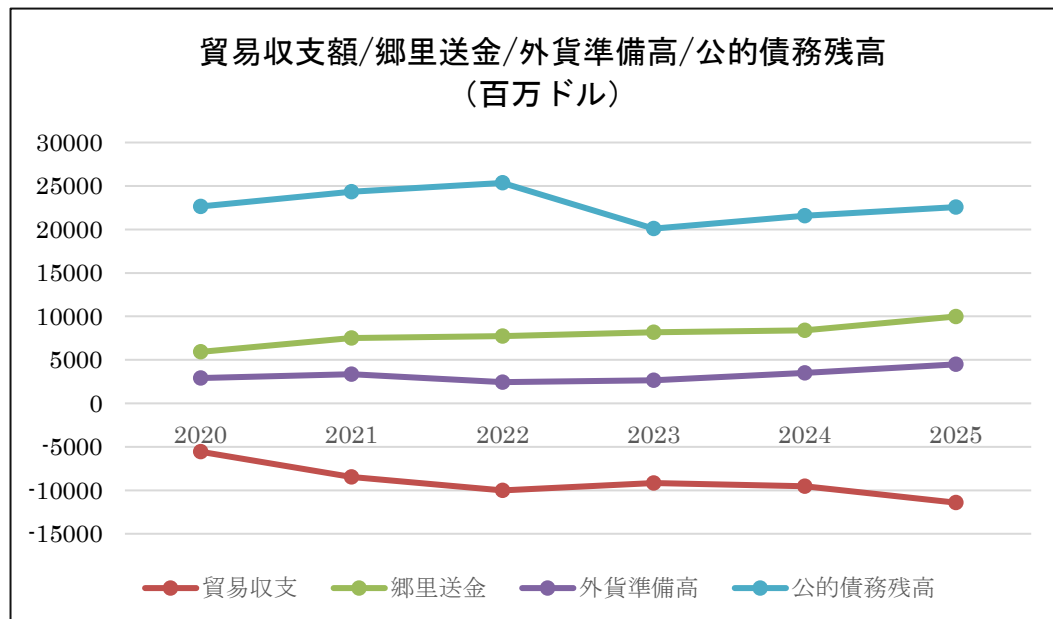
2026年3月までの輸出入額及び貿易収支額（百万ドル）



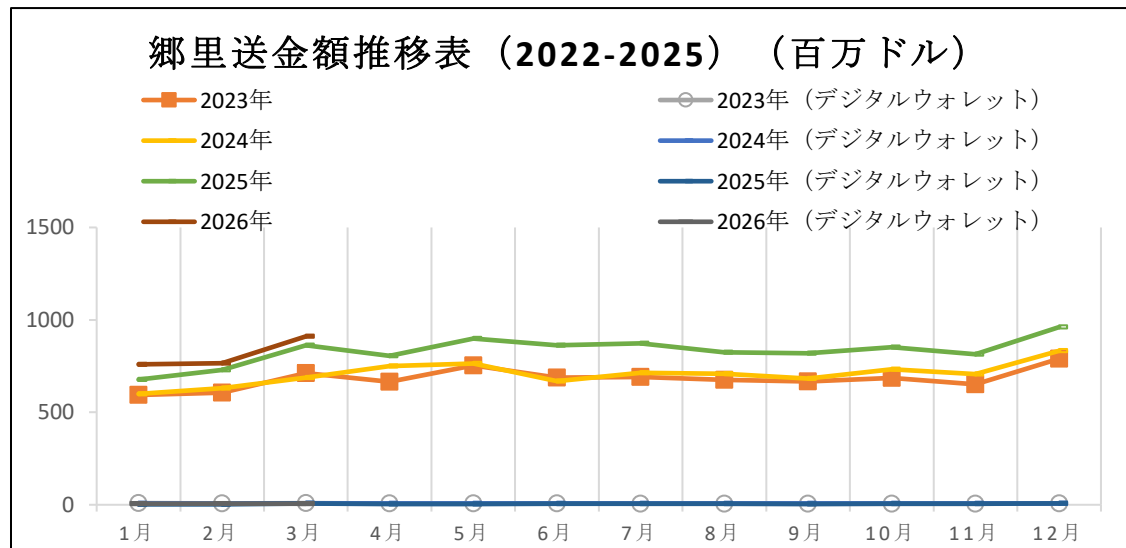
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

6 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・ 2025年の貿易収支額はマイナス114億1,980万ドルとなり、前年より赤字額が19億2,718万ドル増加した。（エルサルバドル中銀2025年報告書統計の数値）
- ・ 2025年の郷里送金額は99億8,790万ドルとなった。そのうち米国からの送金は、全体の91.6%（92億2,490万ドル）を占めた。



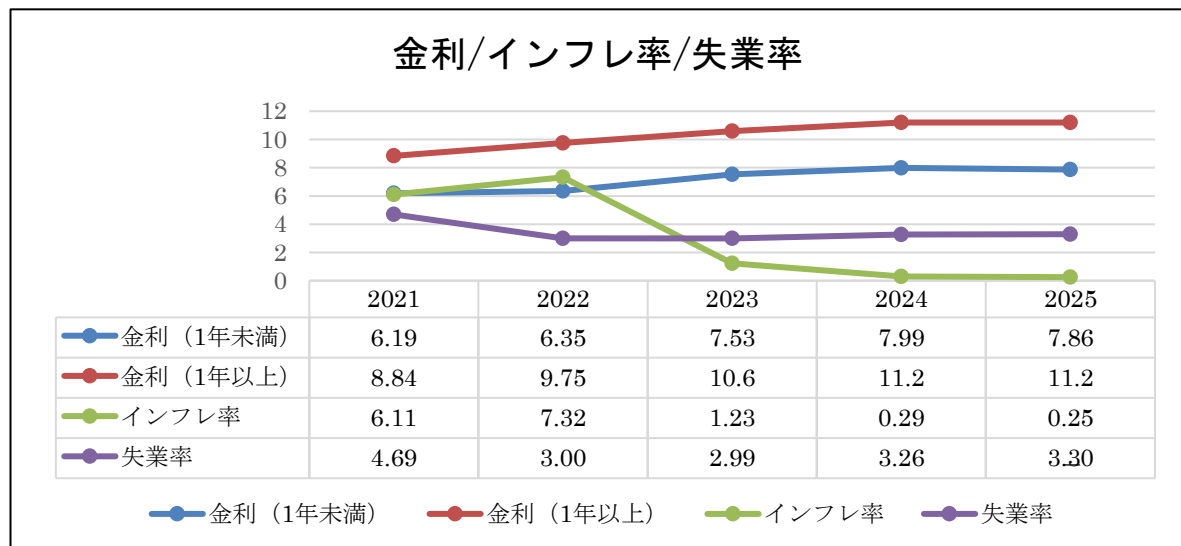
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

7 金利・インフレ率

2025年のインフレ率はプラス0.25%であった。また中央銀行（BCR）による2025年の失業率は現時点で公表されていない（世界銀行データ3.3%）。



（エルサルバドル中銀データ（失業率のみ世界銀行データ）をもとに作成）